

元気おおとよは、
大豊町を元気にするための
民間の団体です！

2016 春号

元気おおとよ新聞

発行元：特定非営利活動法人 元気おおとよ <http://www.genki-otoyo.org> 平成28年4月1日発行 No.13

“れいほく田舎暮らし体験ツアー”開催しました！

3/5（土）～6（日）にNPO法人元気おおとよと「れいほく田舎暮らしネットワーク」の共催で「れいほく田舎暮らし体験ツアー」を開催しました。

移住を検討されている方々を対象に、嶺北や大豊町の暮らしぶりを見て・聞いて・感じてもらおうと、NPO法人元気おおとよとれいほく田舎暮らしネットワークの共催で企画しました。

1日目は本山町のさくら市や「レイホクファーマーズカフェ」でランチ、農家さんの見学、夜は「みどりの時計台」でたくさんの移住者に集ってもらい、郷土料理（さわやか大豊さんに作ってもらいました）と地酒を楽しみながら、移住に関する様々な情報交換。

2日目は、そば打ち体験、「お山の宿みちつじ」でジビエランチ、空き家見学、「大田口カフェ」でコーヒータイムと盛りだくさんの内容でした。

実際に移住を経験されたお宅に訪問し、仕事や暮らしぶりを見ることで、少しでも移住後のイメージをつかんでもらえたと思います。このようなイベントをきっかけに、大豊や嶺北のことを知ってもらい、交流・移住のきっかけになるよう今後も続けていきたいです。（野田）



移住者紹介のコーナー



細井さん 30代

移住者にインタビューしてきました！

今回は東京都から柚木に移住をされた細井さんをご紹介します！

細井さんは、もともと鳶職をしていた中で、お金の上での付き合いが増えお金目的の生活に疑問を抱いていました。

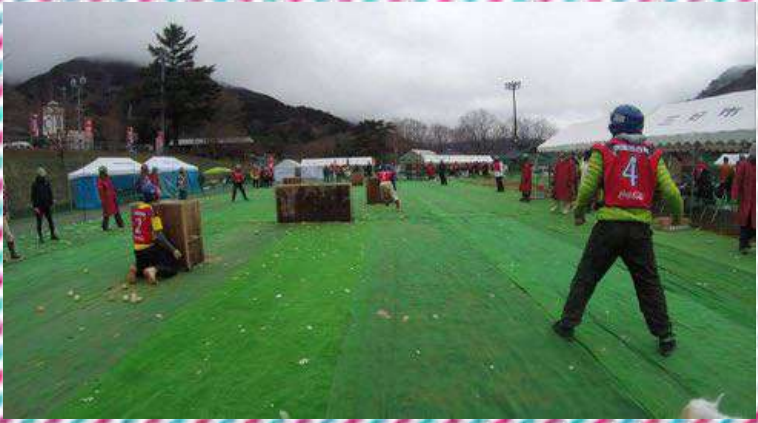
そんな都会の生活には欠けているものがあって、それを山で暮らすことで見つけられるのではないかと移住を考えました。

漠然と山のあるところを探している中で、四国の中でも高知に縁を見つけ、昨年の12月に移住をしてこられました。

この2か月間生活してみると、「周りの人がとても気にかけてくれて優しく、温かい。ここに来てよかった。このお返しを少しでもしていけるように、この地で頑張っていきたいです。これからもよろしくお願いします。」と笑顔でおっしゃっていました。

またひとつ、大豊町に元気が増えました。

これからも大豊町の元気を紹介していきたいと思います。（中平）



「ピィィィィイ!!!!!!」
コート中に大きな笛の音がこだました。緑ヘルメットの審判員が頭上で片腕を大きく振り回している。フラッグ奪取の合図だ。相手コートの中には無数の雪玉をかいくぐり、敵を圧倒して天高く敵の旗を抜き上げた勇者の姿があった。それはスポーツ雪合戦では花形ともいえるリスク・難易度共に最高レベルの技。フラッグダッシュだ…
「準決勝Bコート！ 祖谷ガールズVS大豊ワイルドボーラーズの試合が間もなく始まります！」アナウンスと共に私たちはフィールドに入場をしていた。「すげえ！ このチームには勝てる気がしない…」たまたま見ていた予選リーグで目に留まった祖谷ガールズ。女子高校生だけのチームだが、山なりに投げるロブの精度とタイミングが抜群。さらに統率の取れたチームワークで相手チームを常に圧倒していた。

しかし、それ以上に驚いたのは、昨年1セットしか取れなかった弱小チームの我々大豊ワイルドボーラーズが三試合も勝ち進み、遂には準決勝であの強豪チームとの試合に臨んでいる事だった。

作戦は待つこと。じっと、シェルターの陰に隠れて、相手が勝負に出るのを待つ。相手も必死に投げってくる。メンバーひとり一人が撃たれないように、じっと前を見つめながら、各々の役割を果たしていた。向こうも慎重だ。なかなか隙を見せない。ジリジリにらみ合っているうちに時間が過ぎ、試合が終わった。結果は同点。引き分けだった。そして試合はピクトリースローと呼ばれるPK戦にまでもつれ込んだ。代表の五人で的を落とす回数が多かったチームが勝ちあがる。勝敗が自分の一球に…プレッシャーの中での一球。2対0で勝ちあがる事が出来なかったが、皆、確かな手応えを感じていた。また来年の冬に向かって…

スポーツ雪合戦とは…フォワード4人、バックス3人の7人で雪玉を投げ合い、より多くの敵を倒すか、相手のフラッグを抜いたチームが勝利する日本発祥のスポーツ。1月30日に祖谷で開かれた雪合戦四国大会に大豊ワイルドボーラーズが出場し、ベスト4まで進出した。(猪野)

車座学習会 地球温暖化

昨年末、COP21でパリ協定が採択されました。すべての国が削減目標を提出し、その達成に向け対策を実施することを国際的に義務づけています。歴史的合意だと言われているのですが、反面達成は厳しいとの見方もあり、各国の今後の取り組みが注目されています。

私たち「NPO法人元気おとよ」も以前からこの問題について関心を持ち、「元気おとよ新聞」の創刊号から「冬のヒマワリ」「フェイス to 地球温暖化」と題したコラムを連載してその共有化を図ってきました。

そしてこの度、会員、特に若い会員から、「温暖化は地球規模の大きな問題だが私たちの生活にも直結する問題でもある。私たち自身その現状や原因、課題をもっと知りより理解する必要があるのではないか」という声が出されました。

そこで、年が明けて今年2月11日、以前から書籍や新聞、テレビ番組の録画などを収集してきた下村理事長の資料をもとに学習会を持つことになりました。



第一回 地球温暖化 車座学習会

○学習の内容

主にビデオ視聴を中心に学習を進めました。COP21で取り決められた枠組みから、各国の課題と取り組み、二酸化炭素の増加による私たちの身の回りで起きている意外な環境破壊と地球温暖化による異常気象や自然破壊の脅威など。

○参加者から

- ・知らなかったことがたくさんあって大変勉強になった。
- ・同じ先進国で日本よりも二酸化炭素の排出が少ない国の取り組みも知りたい。
- ・特に途上国での影響は想像を絶するものがあると思った。
- ・私たちが地球温暖化の対応に向けてどういったことができるか考えてみたい。

27年度 移住相談・移住実績

～途中経過～ (4/1～3/10現在)

▼移住相談

移住相談会 53件
電話・メール・来町 47件

▼移住実績

実績・・・11件 (20名)

▼移住元

高知市、高知県内、四国内、近畿、関東など

▼移住先地域

葛原、大王下、穴内1区、日浦、東土居、佐賀山、柚木、高須、戸手野など

空き家に関する情報を募集しています。

お気軽にお問い合わせください。

電話 **080-8635-2253**

担当：野田

受付 9:00～19:00

4/10
おびさんマルシェ
(高知市)



5/下旬
お山の手づくり市
(本山町)

5/15
おびさんマルシェ
(高知市)

※ 予定は、変更になる場合があります。